

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
ライフステージ 栄養学Ⅰ		塩原 明世	講義	2	前期
必修・選択	修了要件	必修			
	資格要件				
学習目標	「応用栄養学(短大1年次)」で学習したライフステージ毎の特性および栄養上の留意点に対する理解をさらに深め、管理栄養士として必要な栄養マネジメントの知識を習得する。また、現場で取り扱う検査値や食事摂取基準について正しく理解し、運用することができる。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	栄養マネジメント (1)	栄養管理の概念について			
2	栄養マネジメント (2)	栄養アセスメントの指標について			
3	栄養マネジメント (3)	検査値の読み方について			
4	栄養マネジメント (4)	栄養ケア・プログラムについて			
5	栄養マネジメント (5)	栄養管理の評価デザインについて			
6	栄養環境への適応	代謝の統合、飢餓と低栄養について			
7	栄養素必要量の科学的根拠	日本人の食事摂取基準(2010年版)について			
8	発育・発達・加齢 (1)	成長・発達による変化と栄養について			
9	発育・発達・加齢 (2)	加齢と老化について			
10	母性栄養 (1)	妊娠と妊娠母体の変化について			
11	母性栄養 (2)	妊娠期の栄養について			
12	乳児期の栄養	乳児の成長と発達、代謝異常、乳児期の栄養について			
13	幼児期の栄養	幼児期の身体状況の変化、幼児期の栄養について			
14	学童期の栄養	学童期の身体状況の変化、学童期の栄養について			
15	思春期の栄養	思春期の身体状況の変化、思春期の栄養について			
参 考 書	①江田節子ほか 「サクセス管理栄養士講座7 応用栄養学」第一出版 2010 ②厚生労働省「日本人の食事摂取基準」策定検討会報告書 「日本人の食事摂取基準 2010年版」 第一出版 2009				
学習上の注意(自己学習、学外学習など)	人間栄養学の礎となる重要な科目である。授業の予習・復習を確実にを行うこと。				
評価の方法と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観試験(復習小テスト)による形成的評価を行う。</li> <li>・全15回終了後、論述試験、客観試験を組合せた総括的評価を行う。</li> </ul>				